

FUMA CONTEMPORARY TOKYO | BUNKYO ART

足立喜一郎 伊奈章之 小松宏誠 平子雄一

Kiichiro Adachi

Akiyuki Ina

Kousei Komatsu

Yuuichi Hirako



Back to the Nature

バック トゥー ザ ネイチャー

2012年6月1日(金) - 6月17日(日) 11:00-18:30 会期中 日・月休廊 (17日日曜日は開廊致しません)



足立喜一郎
「シャンデリア」
2010 90 x 90 x 150 cm
ミラーチップ、モーター、
歯車、プーリー、ベルト、
鉄、LEDライト、ヘイズマシン
"Chandelier"
mirror chips, motor, gear,
pulley, belt, iron, LED light,
haze machine



伊奈章之
「コレクション
-ニュースペーパーの風景-」
2011 140 x 140 cm
アクリル、新聞、パネル
"The View of Newspaper"
Acrylic and newspaper on panel

足立喜一郎、伊奈章之、小松宏誠、平子雄一

「バックトゥーザネイチャー」

会期 2012年6月1日(金) - 6月17日(日)

会場 Fuma Contemporary Tokyo | Bunkyo Art

11:00-18:30

会期中 日・月休廊(17日日曜日は開廊致します)

Date Jun. 1, Fri - Jun.17, sun, 2012

Venue Fuma Contemporary Tokyo | Bunkyo Art

11:00 - 18:30

The gallery is generally closed on Sundays and Mondays, but Sunday, June 17th we will be open.

Fuma Contemporary (6月1日から17日)では足立喜一郎、伊奈章之、小松宏誠、平子雄一によるグループ展「バックトゥーザネイチャー」を開催致します。本展タイトルである「自然に帰れ」という簡素で端的な言葉は作家の制作行為に問いかけます。宇宙に行くよりも困難な深海や位置情報を取得できない深林、未だに解明されない生態系など、自然界における位置関係や変態規則は探求心を魅了して止みません。また、我々は自然との共存を目指す一方で合理主義下で破壊と育成を行い、操作可能な自然を希求しているようにも観えます。アリストテレスの言葉に「芸術は自然から人間が模したもの」とあります。自然の意である「ありのまま」「自然界(ネイチャー)」を用いて、本展作家が習慣とする自然を模す行為は自然な行為となります。そして、自然を模倣し全く別の自然(=不自然)を創作する行為は自然なのです。足立は釜山ビエンナーレや横浜ZAIMで発表した自然と人間との関わりを表した「シヤングリラ」シリーズを、伊奈はシェル美術賞などで発表した技法を用いて印刷物を物理的に分解し再構成するシリーズを、小松は旧フランス大使館・NO MAN'S LANDなどで発表した「Lifelog」シリーズと鳥の翼で構成された動きのある作品を、平子はトーキョーワンダーサイトやデンマークでの展示等で発表している相反する植物と都市、人を共存させ植物や森への支配と共存関係を意識させる「庭先メモリーズ」シリーズを出展する。これらは玩具、還元、再構築、同化の要素を伴い、不自然な自然空間を創出します。



小松宏誠
「Lifelog」
2010 50 x 50 cm
ヤマシヨウビン、アクリルケース
“Lifelog_Black-capped Kingfisher”
Black-capped Kingfisher,
acrylic case



平子雄一
「庭先メモリーズ:わたしのいえ3」
100×90cm
アクリル、キャンバス
“Memories of My Garden /
My House 3”
Acrylic on Canvas

足立喜一郎、伊奈章之、小松宏誠、平子雄一 「バック トゥー ザ ネイチャー」

作家略歴:

足立喜一郎

大阪府出身。多摩美術大学環境デザイン科卒業。様々なものを玩具化した作品を特徴としている。釜山ビエンナーレ、サンパウロ近代美術館、シンガポール近代美術館など国内外での展覧会に参加する。主なコレクションに東京都現代美術館などがある。

伊奈章之

美術家、アーティストイック ディレクター。東京芸術大学美術学部卒業、同大学院美術研究科修了。現在東京都在住。主に既製品や情報媒体を分解しピグメントとして絵画を描く。引用や関連を作品の要素として多様な表現をする。主な展示はNYでの個展やホイットニー美術館キュレーター審査展二等賞、国内ではシェル美術賞やトーキョーワンダーウォール等。

小松宏誠

徳島県出身。武蔵野美術大学、東京芸術大学大学院を卒業後、アーティストグループ・アトリエオモヤのアーティストとしても活動中。個人では鳥の進化・構造・存在の美しさに着目した立体作品やインスタレーションを制作。主な展示に第10回文化庁メディア芸術祭、旧フランス大使館・NO MAN'S LAND、釜山ビエンナーレ、六本木アートナイト2012などがある。

平子雄一

岡山県出身。Wimbledon College of Art卒業した後、現在東京を拠点に国内外で作品を発表している。人や人間社会と植物の関係性に着目し平面、立体、サウンドアートを制作している。主な展示にはトーキョーワンダーサイト本郷、デンマークのGalleri Christoffer Egelundでの展示がある。2010年トーキョーワンダーウォール賞受賞。

Fuma Contemporary Tokyo | Bunkyo Art

104-0042 東京都中央区入船1-3-9長崎ビル9F
9F, Nagasaki Bldg., 1-3-9 Irifune,
Chuo-ku, Tokyo, 104-0042 Japan
Tel 03.6280.3717 Fax 03.6280.3717
e-mail bunkyo-art@wind.ocn.ne.jp
website www.bunkyo-art.co.jp